

【問題 1】

次の漢文史料を書き下し、また現代日本語に訳しなさい。

先是有布衣洪鍾宇者如日本納交於金玉均為其卵育者有年至是以玉均為奇貨可財利誘玉均浮海至清国上海挾匕伺隙殺之清国以軍艦濟遠号載玉均屍及鍾宇帰于本国来泊仁川濟物港京畿監司金奎弘具聞其状命梟其首於楊花津支解以徇四方時又有李逸植者与鍾宇同謀欲殺朴泳孝於日本東京行刺而未就未幾朝廷擢鍾宇文科旋授五品官従台請孥籍玉均家如法玉均深悔依頼日本而謀我独立之事貽書于清国北洋大臣李鴻章痛論宇内大勢及清国不可不援助朝鮮確固独立之權乃渡上海将赴天津与李経芳議其事日本人知之遂教唆鍾宇而殺之

(出典：『大韓季年史』卷二・高宗三十一年甲午春二月)

※出題にあたり割注を省略した。

【問題 2】

自分の研究テーマの学術的意義を、朝鮮史全体、または東アジア史全体、もしくは世界史全体を見渡した一般的観点より論じなさい。

【問題3】

次の項目①～⑩より三つを選択して解説しなさい。なお選択した項目番号を明記すること。

- ① 新羅赤城碑
- ② 周時経
- ③ 柳成龍
- ④ 鄭夢周
- ⑤ 産米増殖計画
- ⑥ 維新体制
- ⑦ 乙支文徳
- ⑧ 中人
- ⑨ 四色党派
- ⑩ 八関会

【問題4】

次の朝鮮語文を現代日本語に訳しなさい。

著作権の都合により問題文を削除。
下記出典の14頁6行目～15頁13行目より引用。

出典：박도식 『조선전기 공납제 연구』 (해안, 2011年)

※出題の都合により漢字をすべてハングルに変換した。